

1 次の問いに答えなさい。

- (1) 図1はマツの枝の一部を、図2はマツの雌花と雄花から取ったりん片を、図3はアブラナの花のつくりを表したものである。これについて、あとの各問いに答えなさい。

図1

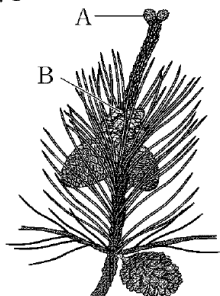


図2

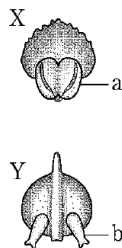
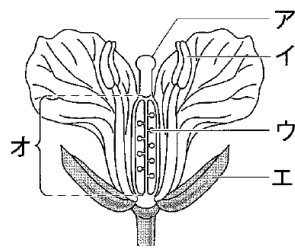


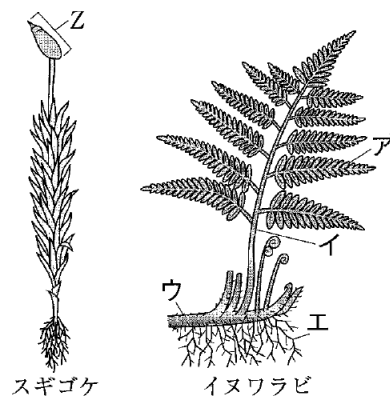
図3



- ① マツやアブラナは、花を咲かせてなかまをふやす。このようななかまのふやし方をする植物をまとめて何というか。名称を答えなさい。
- ② 図2のXのりん片の説明として最も適当なものはどれか。次から1つ選び、記号で答えなさい。
- ア 図1のAから取ったもので、図2のaは花粉のうである。
- イ 図1のAから取ったもので、図2のaは胚珠である。
- ウ 図1のBから取ったもので、図2のaは花粉のうである。
- エ 図1のBから取ったもので、図2のaは胚珠である。
- ③ 図2のYのりん片のbにあたる部分を、図3のア～オから1つ選び、記号で答えなさい。

- (2) 図4は、スギゴケとイヌワラビのからだのつくりを表したものである。これについて次の各問いに答えなさい。

図4



- ① 図4のスギゴケのZと同じはたらきをするつくりは、イヌワラビではどの部分にあるか。図4のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。
- ② スギゴケとイヌワラビについて、イヌワラビだけにあてはまる特徴は次のどれか。1つ選び、記号で答えなさい。

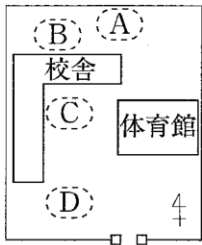
- ア 雌株と雄株がある。
- イ 根、茎、葉の区別がある。
- ウ 仮根がある。
- エ 子房がある。

- (1)② 図1のAは雌花、Bは雄花である。図2のXは、花粉のう(a)がついていることから雄花のりん片、Yは胚珠(b)がついていることから雌花のりん片であるとわかる。
- ③ 図3のアは柱頭、イは花粉が入ったやく、ウは胚珠、エはがく、オは子房である。
- (2)① 図4のZは、雌株の胞子のうを示しており、中に胞子が入っている。イヌワラビは、葉の裏に胞子のうができる。
- ② アとウはスギゴケなどのコケ植物だけにあてはまる特徴であり、エはスギゴケやイヌワラビにあてはまらない特徴である。

		しゅしきふつ 種子植物	
(1)	①		
	②	ウ	2
	③	ウ	3
(2)	①	ア	4
	②	イ	5

1 校庭に生えている植物の分布調査を行い、その後、タンポポの花を調べました。これについて次の問いに答えなさい。

(1) 次の図のように、校庭のA～Dの4つの場所を選び、それぞれの場所の日当たりと土のしめりけの程度を記録しました。また、次の表のようにドクダミ・カタバミ・タンポポの生えている場所をまとめました。この結果からわかることとして適当なものをあとからすべて選び、記号で答えなさい。



場所		A	B	C	D
環境	日当たり	悪い	悪い	よい	よい
	土のしめりけ	やや少ない	多い	やや少ない	少ない
植物	ドクダミ	なし	あり	なし	なし
	カタバミ	なし	あり	あり	あり
	タンポポ	あり	なし	あり	あり

ア ドクダミは、しめりけが多い場所に生えているが、日当たりが悪い場所には生えていない。
 イ カタバミは、土のしめりけに関係なく、日当たりがよい場所だけに生えている。
 ウ タンポポは、日当たりに関係なく、土のしめりけが多くないところだけに生えている。
 エ 表の植物には、土のしめりけが多くなり、日当たりが悪い場所だけに生えるものはいない。

(2) 校庭に生えているタンポポを採取して、1つの花のつくりをルーペで観察し、スケッチしました。これについて次の各問いに答えなさい。

① 台紙においた1つの花を観察するときの、ルーペの使い方として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア ルーペを目に近づけて持ち、見たいものを前後に動かしてピントを合わせる。
- イ ルーペを目から離して持ち、見たいものを前後に動かしてピントを合わせる。
- ウ ルーペを目に近づけて持ち、顔とルーペを前後に動かしてピントを合わせる。
- エ ルーペを目から離して持ち、ルーペと見たいものの両方を前後に動かしてピントを合わせる。

② 次の文は、スケッチのしかたについて説明したものです。文中の{ }にあてはまるものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

スケッチは、点と a {ア 太い線 イ 細い線} で、 b {ア 一本の線で イ 二重がきして} かく。